

# クリエイティブ京都 M&T

Management & Technology for Creative Kyoto

Apr. 2008

04

No. 033

## CONTENTS

- P1 京都産業21事業計画
- P2 京都府中小企業技術センター事業計画
- P3-4 京都ぎじゅつフォーラム2008
- P5-6 若手人材ニーズ調査結果報告
- P7-8 ものづくり産業研究交流会
- P9-10 「講習会・セミナー」のご案内
- P11-12 設備貸与制度
- P13 京都府中小企業融資制度
- P14 品質工学講演会案内
- P15 研究報告
- P16 相談事例・機器紹介
- P17-18 京都府の中小企業施策
- P19 京都府織物・機械金属振興センター
- P20 京都発明協会
- P21 受発注コーナー
- P22 遊休機械設備コーナー
- P23 行事予定表

# 平成20年度財団法人京都産業21事業

我が国の経済は、数年にわたる回復期を経て拡大に向かうと見込まれていたが、昨年来の米国金融資本市場の変調と実態経済への影響、これに伴う景気の先行きへの懸念が急速に広がってきている。また、これまでの景気回復過程においても、業種や地域による格差が指摘され、加えて消費の低迷や原材料・エネルギーコストの上昇は、中小企業の経営環境を一段と不安定なものにしている。

世界規模で拡大する市場経済の中で、経営を維持し、ビジネスチャンスを活かしていくためには、常に新たな観点から企業活動を組み立てていくことが必要であり、個々の企業の経営資源に制約の多い中小企業の場合は、自らの努力・工夫とともに、他の企業や大学等との交流・連携、政策的支援手段の活用などがそれを促進してきた。

京都においても企業、業種、地域によって業績や景況に相当な差異があり、しかも全体的な経済の動向に厳しさと不透明感が増している。このような状況のもとで、中小企業がその経営を維持・改革していくためには、現実の企業経営における足場を固めるとともに、それぞれの地域で、より多くの企業が新製品・新市場に向けてチャレンジできる条件を整えることも必要である。

このため平成20年度は、以下を重点方向として財団の活動を展開する。

- 1 異業種交流、産学・企業間連携、経営革新など、財団が推進してきた企業との協働をベースに、地域の資源や活動を様々なビジネスにつなげる新たな支援制度を導入・展開し、各地域における事業活動を増強する。
- 2 厳しい経営環境にある中小企業の経営課題の解決に向けて、専門家相談、受発注取引あっせん、市場開拓などを効果的に行うとともに、下請取引の適正化を更に推進する。
- 3 北部地域における産業活性化拠点の整備、南部地域における開発・生産機能の拡充、試作産業の一層の展開、伝統産業の優れた技能・技術の活用、環境・資源エネルギー問題への対応など、京都の産業発展、中小企業振興上の力点となる事業を継続的に推進していく。
- 4 IT活用、人材育成、知財保護や経営品質の向上など経営手法の改革に向けての支援を拡充する一方、京都府産業支援センターを構成する府中小企業技術センターを始め、この支援センター施設で業務を行うこととなった(社)発明協会京都支部や大学、関係機関との連携のもとに、財団自身の活動力を高めていく。

## 平成20年度 事業施策体系



### 財団法人京都産業21北部支援センターが誕生します

(財)京都産業21では、4月1日から北部支所を改組・拡充して、新たに「北部支援センター」を開設します。

この北部支援センターでは、日本電産(株)旧峰山工場を活用した人材育成拠点「北部産業活性化拠点・京丹後」の運営を核として、中丹及び丹後地域の中小企業の支援活動を進めます。

〒627-0011 京都府京丹后市峰山町丹波139-1

TEL:0772-69-3675 FAX:0772-69-3880 e-mail:n-shisho@ki21.jp

# 平成20年度 京都府中小企業技術センターの事業

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様の課題解決に向けた技術支援を行っていますが、平成20年度においては、下記の事業を重点として積極的に取り組んでいきます。

## I 産業支援センターとして経営・技術をトータルサポート

### ●(財)京都産業21との一体的支援の推進

(財)京都産業21と一体となり、経営技術のワンストップ支援機関として、新たな経営課題に挑戦する意欲的な企業に対して迅速かつ効果的な支援を行います。また、中小企業のサポート情報等を広く発信し、「技術情報のニュースサイト」として機能の充実を図るとともに、技術顕彰や経営革新における調査や評価等、技術面からの支援を行います。

## II 企業の技術基盤の強化支援

### ●依頼試験や機器貸付によるものづくり支援

中小企業等における固有技術への対応製品開発や品質向上を支援するため、依頼による試験分析計測等を通じ、技術的アドバイスを行うとともに、企業の技術者が自ら試験評価等を行えるように機器を開放し、中小企業のものづくり技術をしっかりと支えていきます。

### ●京都ものづくり基盤技術の高度化支援

卓越した基盤技術を有する中小企業が京都のものづくりの強みの源泉であり、各種製品の軽薄短小化や高性能化に伴い、更なる技術の高度化が求められている中で「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づき、基盤技術の高度化を目指す中小企業の支援を行います。

### ●企業の人材育成支援

各技術分野において、研究会やセミナー等を実施し、技術者の技術力、製品開発力等の向上を図ります。また、未来を拓くチャレンジ精神旺盛な若手技術者を支援する取組の充実強化を図ります。

### ●企業ニーズに呼応した研究開発の推進

保有技術の革新や新技術開発を目指す中小企業等のニーズに呼応する試験研究の実施、共同研究等に取り組むとともに、企業や大学と当センター職員による共同研究8テーマ及び業界ニーズに基づく研究開発等6テーマを実施し、成果の業界普及を図ります。

### ●環境・国際規制、エコ化対応への支援

欧州有害化学物質規制(RoHS指令、WEEE指令)等の国際的化学品規制やISO14001等環境管理規格へ対応するため、セミナー・講習会による情報提供やインターネットによる相談等を行います。電磁環境適合性(EMC)国際規制や国内での規制等については、校正(標準化)した計測機器と電波暗室の提供等により効率的にクリアできるよう支援します。また、省エネ等地球温暖化対策への取組支援や、環境分野において京都の産学公を結集する「京都

なお、平成20年度事業については、当センターホームページ(<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>)でも、今後、お知らせしてまいりますので、御利用ください。

産業エコ推進機構(仮称)と連携した原材料有効活用モデルシステム開発など、中小企業のエコ化対応への技術的支援を行います。

### ●産業デザインの活用推進

企業や団体などの様々なデザイン開発の事例を通じ、産業デザイン手法を活用した具体的な解決への取組や成果をケーススタディとしてとりまとめ、広く普及を図り、産業デザインの活用を促進します。また、企業とデザイナーとのマッチングの機会をつくり、企業の製品開発力の向上の取組を支援します。

## III 京都産業の新事業展開支援

### ●新産業創出支援への技術的支援

「京都産業活性化プラン」「産学公連携の促進による新産業の創出プラン」及び「京都府中小企業応援条例」等に基づき、環境や健康分野等の高い成長が見込まれる新産業分野に中小企業が進出するための技術面からの支援を行います。

## IV 産学公連携等の推進

### ●産学公連携等による技術開発支援

企業の新製品・新技術開発を目的とした提案公募型研究開発の産学公コンソーシアムのコーディネート・編成を支援し、公募事業への応募・共同研究を推進します。

### ●知的資産活用の推進

知的財産権やノウハウ、人材、技術力など目に見えない企業の強みである知的資産を活かす知的資産経営(知恵の経営)を推進するため、京都府知的財産総合サポートセンターや(財)京都産業21と連携し、知財技術経営のワンストップサービスを強化します。

## V 府内地域産業の活性化推進

### ●北部地域のものづくり産業振興

綾部市と共同で設置した「北部産業技術支援センター(綾部)」の更なる取組を拡充するとともに、府北部地域の地場ものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を進めるため、「北部産業活性化拠点:京丹後」とも連携し、地域の企業のニーズに即した研究開発や人材育成等を支援します。

### ●学研都市の研究シーズ育成・活用

新事業・新産業創出を実現するため、優れた研究シーズを有する学研都市の研究機関・大学と企業の出会い・交流の場を提供することにより、産学公連携の促進、技術交流と人的ネットワークの形成・拡大を図ります。

## 平成20年度導入予定機器の紹介

平成20年度に京都府中小企業技術センターが導入する機器(予定)をご紹介します。

### ICP発光分光分析装置

アルゴンの高温プラズマ中で試料溶液中の元素が発する特定の光を検出し、強度を測定することにより元素の種類と量を調べる機器です。

金属、プラスチック、セラミックス等機械工業の分野で使用される材料に含まれる成分を高精度で分析することが可能で、品質管理、有害物質規制への対応には不可欠の機器です。

### フーリエ変換赤外分光光度計

有機物でできていた原材料の種類(ナイロン、ポリエチレンなど)の検査(同定検査)、有機物による製品・原材料の汚れや異物の同定検査に使用します。

測定原理は赤外光を試料に照射すると物質によって特定の波長で赤外光の吸収が起こり、その吸収パターン(吸収スペクトルといいます。)を見ることにより物質を同定するものです。

# 京都ぎじゅつフォーラム2008

去る2月21日(木)、「京都ビジネス交流フェア2008」において開催された「京都ぎじゅつフォーラム2008」の基調講演の内容を紹介します。

## 基調講演

### 「技術開発を支える情熱」

～非破壊ヒビ卵検出装置の開発～



株式会社ナベル  
代表取締役  
南部 邦男 氏

#### プロフィール

京都府出身(1948年生まれ)立命館大学卒業  
1964年 南部電機製作所(現ナベル)創業  
1979年 「鶏卵自動選別包装装置」を製品化(国内初)  
1997年 ストック型自動洗卵選別包装装置で(財)京都産業技術振興財団の「京都中小企業優秀技術賞」を受賞  
1998年 「非破壊ヒビ卵検出装置」を開発  
2006年 経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定  
2007年 特許庁の「知財功労賞」を受賞

#### ●会社概要

当社は、1964年に創業しました。現在、国内に8つの事業所とマレーシアに現地法人があります。従業員は112名で、年間の売上は約32.6億円。主な製品は、鶏卵選別包装装置、非破壊鶏卵品質検査装置です。鶏卵選別包装装置においては、世界シェアの約2割、そして国内シェアの7～8割を占めています。

#### ●製品開発の経緯

当社が鶏卵業界と縁を持つようになったのは、京都のある大手企業から「卵の機械をつくらへんか」と声をかけられたのがきっかけでした。もともと卵の包装は塩化ビニール製の透明パックをホッチキスで止めたただけでした。そこで

当社は、1975年に「超音波シール機」を開発して超音波でパックを溶着できるようにし、1978年に日本で初めての「鶏卵自動選別包装装置」を開発しました。当時、自動包装装置は海外の輸入品しかなく、非常に高価なものでした。70年代の産業成長の中、未だ手作業で選別包装している姿を見て、開発しようと思ったのです。

1998年には「非破壊ヒビ卵検出装置」を開発しました。この機械は、当社が日本国内また海外へ進出する大きな契機となりました。2000年には、「非破壊血卵検出機」を開発。分光分析技術により、卵内の血液成分に含まれるヘモグロビンを検出し選別します。原理は、分光分析の技術を知っている方ならそれほど難しいことではありません。ただ、1秒間に12個検出できるようにするには苦労しました。そして2005年に「タワー型選別装置」を開発しました。

#### ●世界最高性能の非破壊ヒビ卵検出装置

当社が海外進出する契機となった「非破壊ヒビ卵検出装置」について詳しく説明したいと思います。

1980年代、業界では卵のヒビ割れを自動で検出する装置の開発が大きな課題でした。当時、画像検査装置が実用化の域に達していましたが、家電メーカーなどは画像検査で卵のヒビ割れを検出しようと研究されていました。しかし、当社はこれまで卵の現場での経験から画像検査では無理だと思っていました。

そんな矢先、大学の先生が書いた記事を読みました。この頃、大手企業数社がアコースティックエミッション(AE)すなわち超音波領域の音を検知して産業分野に応用する研究を進めていました。記事には、AEを用いて卵のヒビ割れ



## 人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ [www.pasona-kyoto.co.jp/](http://www.pasona-kyoto.co.jp/)

### 株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447  
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階  
滋賀支店 TEL.077-565-7737  
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津

を検出できる可能性がある」と書いてあったのです。しかし、ヒビ割れが成長しないとAEが発生せず、残念ながら実用化には至りませんでした。

そうして開発が進まない中、88年頃に当社の研究スタッフが、洗濯板のようなデコボコがある板の上で卵を転がすと、ヒビ割れている卵と割れていない卵とでは音が違うということを発見したのです。そこで段差のある板で傾斜を作り、その下に振動を電気にかえる電歪素子を貼り付けた試作機を完成させました。この機械では国内に留まらず、米国でも特許出願を行い、さらに、米国での展示会に出展して大きな反響を得ました。ですから、自信満々で一号機をお客様に納品したのです。今思うと馬鹿みたいな話ですが、この機械ではヒビ割れた卵が中身を垂れ流しながら転がっていきます。1時間に数万個の卵が転がるわけですから、10分もしないうちに板の上は卵だらけになり、音が拾えなくなってしまったのです。結局、装置は失敗に終わりました。この時、やはり現場が大切なのだとつくづく感じました。

我々はこの失敗からなかなか立ち直れずにいました。ですから、何か新しいアイデアが生まれるまで開発は中断しました。3年ほどたった94年のある時、卵屋の店員がヒビ割れた卵を上から取り除いているところを見て、上から検査するアイデアを思いついたのです。流れてくる卵を16回叩き、その音を可聴域のマイクで拾うと、ヒビ割れていない卵は仏壇のおりんのように余韻を残しながら響きますが、ヒビ割れていると響きません。フーリエ変換すると、割れていない卵は一定の周波数の音が非常に強く現れますが、割れていると様々な周波数の音が現れます。この原理を応用しました。

97年2月からフィールドテストを行いました。全くうまくいきませんでした。卵にも色々な種類がありますから、多くのデータを取り、何度もアルゴリズムを組み直しました。また、叩く棒を単純に1本にすると、叩いたときにマイクが棒の音を拾ってしまうので、試行錯誤の末、棒を二分割し、間に断震のためのゴムをつけることで衝撃を吸収できるような設計にしました。さらに叩いた瞬間だけマイクロフォンのトリガーをかけて音を取得する装置を開発しました。高速型の装置では、1秒間に約533回タッピングを行い、一つの音を拾うために許される時間は1.8ミリ秒ほどしかありません。どのハンマーをどういった順番で動かすのかが非常に難しい最後の問題でした。

結局、3年間の中断を含め11年もの開発期間がかかり、ようやく卵のヒビ割れ自動検査装置が完成しました。現在では、世界最高性能といわれています。

### ●技術開発を支えるもの

困難に立ち向かいながらも技術開発を支えるものは、何だったのでしょうか。一つにはお金や地位があるでしょう。これらは大切なことだと思いますが、それよりも夢や志、世の中を良くしたい、人に喜んでもらいたい、そんな気持ちが大きな原動力になると思います。経験してわかったのですが、お金と地位が目的で突き進んだ瞬間力のある情熱

は、残念ながら挫折には弱いのです。それよりも夢や志を持って、非常に純な心で努力をすれば報われると信じるのが強いと我々は思います。

とはいっても、開発に挫折はつきものです。そんな時、私はスタッフに対して、期待と尊敬の気持ちを込めて、とにかくほめてほめてほめちぎります。「君ならできる」と。

また、開発が困難にぶち当たった時は現場に立ち戻ってください。全ての答えは現場にあります。もちろん学問のヒントは現場にだけあるわけではありません。現場から離れたところに最先端の研究があるのです。現場と学問、それを結びつけるから事業になるのだと思います。

### ●特許の必要性和利用

企業の経営にとって、研究開発の完成は事業の始まりになります。ですから技術開発には、必ず知財戦略という護衛が必要です。特許などの知財問題について無関心であることは、企業人としては非常に危険であると思います。海外企業と対峙していると、真面目さだけで報われるほど世界はのどかではないと感じます。

当社の特許の利用方法はまず一つに「自社開発技術の独占」、二つ目に「社内の発明風土の醸成」。若い開発者にとって官報や広報誌に発明者として自分の名前が書いてあると、それが励みになります。そして「技術開発の資料」。世の中の特許は、資料として極めて優良なデータベースになります。もちろん、特許出願しないという選択肢もあると思います。例えば一子相伝のように、機械・電気・工業製品や研究開発も特許を出願しなければ公開されず独占できる可能性があります。ただ、やはり海外への技術流出を完全に止めることは無理だと思います。

### ●今後の抱負

当社は卵関連の機械しか作っていません。「それだけの技術があるなら、他の事もできますよ」と言ってもらうことも多々あります。しかし、当社は従業員100人ほどの中小企業の一つですから、戦力を分散することに対して非常に強い警戒心を持っています。だから、横へ広げるよりも一分野に集中して技術開発をしたいのです。そのためこれからも卵関連機械しか作りません。現在、当社は卵関連機械のシェアが世界第3位です。このままよそ見をしなければ、もっと上を目指せると思っています。いつか我々も京都中小企業技術大賞を取れるように頑張りたいです。



# 中小企業の若手人材採用に関する調査結果 (平成19年度ジョブカフェ機能強化型若者・中小企業ネットワーク構築事業)

## ●はじめに

若者の多くは、就職先の候補として、まず上場企業等の大手企業を頭に浮かべると言われています。このため、中小企業において若手従業員を確保していくためには、若手求職者等の若者の知りたいことや聞きたいことを知り、それらを明確にプレゼンするとともに、大手企業等にはない自社の魅力・強みをアピールしていくことが肝要です。

(財)京都産業21では、総合就業支援拠点の「京都ジョブパーク」と連携しながら、ものづくり中小企業等における若手人材確保と魅力発信向上の解決支援及び若者の就職支援を目指し、平成18年度から企業と若手求職者等を対象に様々な支援策(ジョブカフェ事業)を実施してきました。

## ●平成19年度のジョブカフェ事業について

平成19年度については、中小企業の人事担当等を対象とした「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催をはじめ、当財団が開催した「京都ビジネス交流フェア2008」などのビジネス交流イベントにおいて、大学生やジョブパーク登録者、工業高等専門学校学生等の若者たちに京都企業の強み、魅力を情報発信する「元気企業発見ツアー」、「中小企業魅力PRコーナー」を実施するとともに、若者たちに中小企業の魅力を発信する「採用プレゼン交流会」を開催しました。

## ●若手人材採用に関する調査及び報告書作成の目的

府内中小企業における若手人材の確保及び職場定着の取組支援に向けて情報発信していくため、平成18年度「採用プレゼン」スキルアップセミナー等の参加企業を対象に、若手正社員を採用したいと考える理由、採用活動の取組等についてアン

ケート及びヒアリング調査を実施しました。その結果をもとに、若手人材の確保及び職場定着、魅力発信活動に係る現状と課題、提案内容を盛り込んだ「中小企業の若手人材採用ニーズ及び職場定着等の取組に関する調査結果報告書」(発行者:京都ジョブパーク、編集協力:(財)京都産業21)を作成しましたので、一部概要を紹介します。

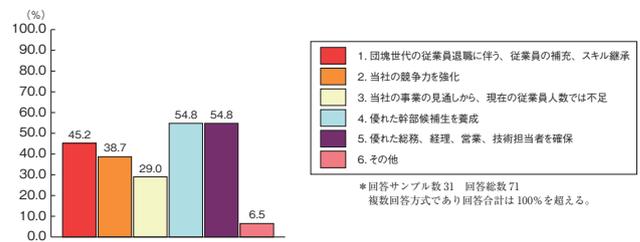
### 【報告書作成に係るアンケート及びヒアリング調査結果について】

- ・アンケート調査対象中小企業51社/  
回答企業31社(回収率60.8%)
- ・ヒアリング調査協力企業16社

## ●若手社員を採用したい主な理由について

若手正社員を採用したい主な理由については、「優れた幹部候補生を養成」と「優れた総務、経理、営業、技術担当者を確保」の回答がそれぞれ54.8%で最も多く、次いで「団塊世代の従業員退職に伴う従業員の補充、スキル継承」(45.2%)、「当社の競争力を強化」(38.7%)等となっており、団塊の世代のベテラン従業員の退職に伴う従業員補充とスキル継承が主な

図表一 若手社員を採用したい、主な理由(複数回答)  
(アンケート調査結果)



THE NEW VALUE FRONTIER

## 人のそばに、 環境品質。

1.3MW大規模太陽光発電システム  
[日本国内の住宅約360世帯の電力使用量に相当]

**スタジアムへの設置 世界最大**

『欧州ソーラー賞(European Solar Prize)2005』受賞  
[施設名称] スタッド・ドゥ・スイス・バングドルフ・ベルン  
※2008年1月現在

パネル発電容量 / 1,347kW    パネル設置枚数 / 7,930枚  
パネル設置面積 / 12,000m<sup>2</sup>    完 成 / 2007年8月16日

旧市街地が世界遺産に登録されているスイス・ベルン市。そのサッカースタジアムに、京セラ太陽光発電システムが設置されました。人のため地球の未来のため優れた品質を世界へ。京セラが積極的に行っている環境貢献の一つです。

京セラ太陽光発電システムが、スイスのサッカースタジアムで稼働。

京セラ株式会社 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 [www.kyocera.co.jp](http://www.kyocera.co.jp)

要因である一方、自社の競争力を強化していくため、若手正社員を採用し、自社の次世代を担う人材を育成していこうとする中小企業が多いことが伺えます。

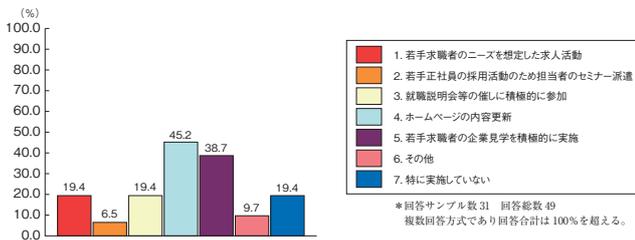
### ●「採用プレゼン」スキルアップセミナーに参加後、以前に比べて良くなったと感じることについて

「採用プレゼン」スキルアップセミナー等に参加後、以前に比べて良くなったと感じたことを尋ねたところ、「自社の強みや魅力を再確認し、若手従業員の採用戦略を作成」の回答が48.4%と最も多く、次いで「若手求職者に対する自社のプレゼンテーション」(38.7%)、「若手求職者に対する効果的な求人内容作成」(25.8%)等となっており、同セミナーを受講した企業においては、若手求職者を念頭に置きながら、自社の強みや魅力を再確認し、採用戦略の作成や効果的な求人内容の作成、プレゼンテーションの取組等、改善に取り組まれていることが伺えます。

### ●若手正社員の採用活動及び自社の魅力発信に係る取組状況について

若手正社員の採用活動及び自社の魅力発信の取組状況については、「ホームページの内容更新」の回答が45.2%と最も多く、次いで、「若手求職者の企業見学を積極的に実施」(38.7

図表一11 若手正社員の採用活動や自社の魅力発信についての取組状況(複数回答)(アンケート調査結果)



%)、「若手求職者のニーズを想定した求人活動」と「就職説明会等の催しに積極的に参加」の回答がそれぞれ19.4%ある一方、「特に実施していない」との回答も19.4%ありました。

### ●中小企業の若手人材の採用及び職場定着の活性化への提案

- 提案1** 若者はどうせ大企業志向だからと最初から諦めずに、中小企業の皆様も不屈の精神で粘り強く、若手人材の採用活動にチャレンジしましょう。
- 提案2** 若手人材の採用にも、また若手人材の確保・養成にもセオリーがあります。
- 提案3** 若者が安心と希望を見出せる「御社の魅力」とは何なのかを徹底的に考え抜きましょう。「魅力が乏しい」と思われるのならば、積極的に「自社の魅力」を作り出していきます。
- 提案4** 「口説き文句」は口先三寸のものであれば、すぐに見抜かれ、だめです。でも、「口説き文句」の「名文句」は必要です。事実即し経営者としての魂がその中心にある「口説き文句」を、若手求職者にプレゼンしていきましょう。
- 提案5** 常に情報収集・活用のためのアンテナを張り、京都ジョブパーク及びハローワーク等行政機関並びに財団法人京都産業21など公的支援機関から発信される情報を敏感にキャッチし、公的支援事業のメニューを、御社の若手人材の採用及び職場定着に活用していきましょう。

詳しくは、「中小企業の若手人材採用ニーズ及び職場定着等の取組に関する調査結果報告書～府内中小企業の若手人材確保・魅力発信の向上支援を目指して～」をご覧ください。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 経営革新部 経営改革推進グループ

TEL: 075-315-8848 FAX: 075-315-9240  
E-mail: kaikaku@ki21.jp

世界  
の産業  
科学に  
貢献する

薄膜技術で

Partners in progress

deposition etching surface treatment

製造機

ReD

## samco

Advanced Thin Film Technology  
Sharpening the Cutting Edge™

1979年の設立以来、当社は成膜やエッチング、表面処理に対するお客様のご要望にお応えし、次世代プロセス機器を提供してまいりました。私どもの製品は、国内外の企業や研究機関で幅広く使用されており、その品質や迅速なサービスには高い評価を頂いております。私どもは、薄膜技術のパイオニアとしてオプトエレクトロニクスやMEMS、実装などの分野において信頼性の高い製品と創造的なプロセスソリューションを提供してまいりたいと考えております。

半導体製造装置: CVD装置・ドライエッチング装置・ドライ洗浄装置

サムコ 株式会社

本社 京都市伏見区竹田藁屋町36 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
営業所 東京・東海・つくば・仙台・広島・台湾・上海・カリフォルニア

<http://www.samco.co.jp>

# ものづくり産業研究交流会

平成20年2月18日(月)にガレリアかめおか(亀岡市)で「ものづくり産業研究交流会」が開催されました。この研究交流会は、南丹地域の企業、大学等との交流を促進するため、京都府南丹広域振興局及び財団法人京都産業21の主催により、今回初めて開催されました。約100名の方が、基調講演やパネルディスカッションに参加され、また、その後の交流会でも活発な意見交換や交流がありました。

## 基調講演

### 「太陽ものづくりルネッサンス」

～南丹地域での工場運営～



太陽機械工業(株)  
代表取締役社長  
安盛 善 氏

ものづくりとは、良いものを創り出すということ。生産効率と原価低減の追及だけではなく、取引相手のニーズや期待に十分応えるものづくりを進めなければならないと日々考えております。

地域での工場経営は、地元の人材活用を前提に、ものづくりを通じて良い産業人を育成していくことから始まります。また、豊かな自然環境に恵まれた南丹地域を保全する観点から、地下水の取水や河川の水質保全にも配慮が必要です。廃棄物のリサイクルなども率先して進め、地域と共生する企業活動を住民の方々と一体となって進めていきたいと考えています。

### 「酒づくりと地域への思い」



(有)長老  
代表取締役  
寺井 昌夫 氏

酒は百薬の長と言われるように、適量を飲めば健康に良く、またストレスの解消にも貢献します。お酒を飲まれるときは、是非、乾杯を日本酒でして欲しいですね。

南丹地域には、多くの造り酒屋がありましたが、今では数社になり京丹波町では当社のみです。幸いにも息子達が後を継いでくれていますので、地域の皆様のお力をお借りしながら、難局を乗り切りたいと考えています。

## パネルディスカッション

### テーマ「南丹地域での産業展開について」

**大西** 本日のパネルディスカッションでは、ものづくり拠点として集積の進む南丹地域に進出された皆さんに当地域の魅力や今後の期待などを語っていただきます。

**西村** 当社は、昭和60年創業で、光学部品の研磨を基礎とした応用として、現在は、光学部品・半導体製造装置・液晶製造装置部品の切削・研削・研磨加工を主に展開しています。社長が園部町出身であること、また、伝統と先端企業の融合という「京都新光悦村」のコンセプトに共

感して、立地を決意しました。現在本社と工場は滋賀県大津市にありますが、第10世代液晶製造装置用部品や大型工作機械用部品に対応する大型加工装置を備えた新京都工場を今秋に建設する予定です。

新工場は、約30名の規模でスタートし、将来的には50名程度まで拡大していく計画です。地元で根ざした人材には魅力を感じており、定年まで勤めて貰える方が理想です。

**稲田** 創業は平成16年で、野菜などを人工栽培する植物工場を昨年

**WEBLINER** 全軸サーボ駆動トラバースタイプ取出ロボット

# RA-α

SERIES

Heartful Technology  
**Yushin**

より付加価値の高い生産の実現を  
**WEBLINER RA/RAII-αシリーズと共に...**

●次代の世界標準! E-touch Webコントローラ装備

- ネットワークによるデータ転送
- リモート操作機能
- メモ機能
- カメラフォン

- あらゆるニーズに応えるために  
当社の主力のサーボ駆動取出ロボットとして、対象射出成形機の型締力30トンクラス用から5000トンクラス用まで26機種をラインナップ。
- 付加価値の高い生産に貢献  
ゲートカット装置やカメラ検査装置などの後工程機との連動を考慮し、「高精度、高速動作」を補完する鉄製フレームを採用。

Heartful Technology  
**Yushin 株式会社ユーシン精機**

本社 〒612-8492 京都市伏見区久我本町11-260  
TEL (075) 933-9555 FAX (075) 934-4033

●海外拠点 アメリカ、中国(深セン・上海・天津)、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、インド、イギリス、スロバキア、オランダ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、カナダ  
●国内営業所 東京、茨城、神奈川、長野、埼玉、栃木、福島、愛知、静岡、三重、京都、富山、広島、福岡

製品に関する詳しい情報は [www.yushin.com](http://www.yushin.com)

コーディネーター



京都学園大学  
経済学部教授  
大西 辰彦 氏

パネラー



(株)クリスタル光学  
総務部課長  
西村 秀哉 氏



(株)スプレッド  
代表取締役  
稲田 信二 氏



田中熱工(株)  
代表取締役社長  
田中 良典 氏



(財)京都産業21  
常務理事(現専務理事)  
家次 昭 氏

8月に京都縦貫自動車道の亀岡インターチェンジ近くに建設しました。立地に際しては、「京都」のブランド価値にこだわり、中でも亀岡が質の高い農産物の産地であること、物流の利便性などを考慮し、工場建設の際も、地域の農家等と何度も協議しながら進め、地下水の循環利用や低廃棄物化など環境にも配慮した設計にしています。

この4月からは、安全、新鮮で、おいしい野菜(レタスが中心)0.5～0.8トン/日を京阪神方面に出荷する予定です。

当社は、若い人が魅力を感じる企業経営として取り組む農業を目指しています。従業員の平均年齢は20代で、4月からパートさんを8名採用しています。第二期工事も計画しており、地元の方の採用も考えています。

**田中** 当社は、大阪府守口市に本社を置き、愛知県内や中国・広東省にも工場を展開して、ボルトやナットなどの熱処理、表面処理加工を中心に業務を行っています。

亀岡に立地する京都工場は当社が新たに組み込む調質加工専用として、昨年の3月に稼動し、平成20年度には拡張工事も予定しています。

この地域を選定した理由は、私自身京都に強いあこがれを持っていることに加えて、道路をはじめインフラ整備が進められ、ロジスティクス拠点として魅力が高いことや、将来、京都縦貫自動車道の完成に伴い守口市の本社まで30分圏内となり、従業員の通勤等にも配慮したことがあげられます。

ただ、府内を縦断するインフラ整備が遅れていますので、この点を努力願っています。

**家次** (財)京都産業21は、京都府中小企業技術センターとともに、京都府産業支援センターを形成、経営から技術までワンストップで質の高いサービスを提供し、府域の中核的総合支援機関として皆様のお役に立ち続けたいと願っています。

南丹地域の長は、機械金属部品や輸送機械製品に強く、清流、農林水産物などの天然資源に恵まれた地域環境を活かし、食品加工や長い歴史を誇る木工などの産業も盛んであり、ハイテクからローテクまで、多様な産業が集積していることです。また、京都市内のみならず阪神間のマーケットに近接し、様々な企業の立地や多様な産業集積を背景に、産学や産産の連携を上手く仕掛けることで新たな展開が大いに期待できます。特に南丹のブランドとして新光悦村や京都学園大学との連携が大きなポイントだと思います。

**大西** 南丹地域にはユニークな取り組みを行う大学等の集積があります。また、北へ少し足を伸ばせば、舞鶴工業高等専門学校もあります。いずれも環境・健康など21世紀のキーワードになる分野の取り組みを進めているのが強みです。

海外の事例も含め企業連携をうまくやっている地域を見ると、必ず大学が交流のハブ、つまり、ひと、もの、情報の中継基地としての役割を演じています。そのためにも大学間相互の連携が重要になるでしょう。京都中部の大学連携が核となって地域の交流が更に深まることを期待したいです。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 連携推進部

TEL: 075-315-8677 FAX: 075-314-4720  
E-mail: renkei@ki21.jp

at.

分析は、「解決」をねらう。

環境問題も、画期的な研究開発も。

どんな課題も、まず、分析機器で数値化しなければ、

問題点すらわかりません。

「問題の解決は、いつも分析から始まる」

HORIBAがねらうのは、その一点です。



ハイテクの一步先に、いつも。

**HORIBA**  
Explore the future

分析・計測機器の総合メーカー  
株式会社 堀場製作所  
京都市南区吉祥院宮の東町2  
http://www.horiba.co.jp

# 平成20年度上半期「講習会・セミナー」のご案内

財団法人京都産業21では、中小企業の経営スキル革新の支援を目指し、平成20年度上半期の講習会・セミナーを下記のとおり開催します。なお、各講習会・セミナーの詳細な開催日程及び場所等については、別途、本誌及び当財団ホームページ(<http://www.ki21.jp>)、メールマガジン、チラシ等で案内しますので、ご参加ください。

※下記以外にも様々な講習会・セミナー事業を開催する予定です。

## 中堅社員研修

**【開催目的】** 中小企業の中堅クラスの社員を対象にして、監督職として必要とされるマネジメント能力の評価・認識、意識改革を図ることを目的とした研修を実施。

**【参加対象】** 中小企業の入社後数年程度の中堅社員

**【開催予定】** 6～7月

\*管理職研修については、平成20年度下半期に開催する予定です。

実施回数:1回

〔2日間(9時～17時)計14時間〕

## IT講習会

**【開催目的】** 中小企業が自社でWEBサイトの構築・メンテナンスを行うためのスキル取得を図ることを目的として、ホームページ作成、HTML/CSS、Flash入門、画像処理について研修を実施。

**【参加対象】** 中小企業実務担当者

**【開催予定】** 6～7月

実施回数:各講座1回

・ホームページ作成講座  
〔2日間(10時～17時)計12時間〕

・HTML/CSS講座  
〔1日間(10時～17時)計6時間〕

・Flash入門講座  
〔3日間(10時～17時)計18時間〕

・画像処理講座  
〔2日間(10時～17時)計12時間〕

## 情報化プラザ

**【開催目的】** 中小企業のIT活用促進を支援するため、ITにかかる技術トレンド情報等についてセミナーを開催。

**【参加対象】** 中小企業経営者及び情報部門担当者

**【開催予定】** 8月

実施回数:1回

〔1日(時間帯等未定)〕

### 未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。

私たちの仕事は電子部品というタネを、  
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。

つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。

携帯電話、カーナビ、パソコン…。

ほら、ちょっと前に想像していた未来が、

もう今は実現されているでしょう？

私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。

小さな部品で、エレクトロニクスの世界に

たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。  
ムラタの部品が

Innovator in Electronics

**muRata**  
村田製作所

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先：広報部 phone:075-955-6786 <http://www.murata.co.jp/>

## 採用プレゼンスキルアップセミナー

- 【開催目的】 中小企業の若手従業員採用を支援するため、採用戦略策定、自社の強み発見、採用プレゼン演習を行うセミナーを開催。
- 【参加対象】 中小企業経営者及び採用人事担当者
- 【開催予定】 右記参照

実施回数:4回  
〔3日間(13時~17時)計12時間〕  
①京都市内コース1…6~7月  
②京都府北部コース…6~7月  
③京都市内コース2…9~10月  
④京都府南部コース…9~10月

## 事業承継支援セミナー

- 【開催目的】 後継者不在による中小企業の廃業を食い止め、円滑な事業承継の支援を目指し、企業経営者の事業承継に係る体験談、事業承継計画、相続税等税制等について研修を実施。
- 【参加対象】 中小企業経営者及び後継者(予定者を含む)
- 【開催予定】 右記参照

実施回数:4回  
〔4日間(13時~16時)計12時間〕  
①京都市内コース1…6~7月  
②京都府北部コース…6~7月  
③京都市内コース2…9~10月  
④京都府南部コース…9~10月

## 講習会・セミナーの開催風景



【お問い合わせ先】 (財) 京都産業 21 経営革新部 経営改革推進グループ

TEL:075-315-8848 FAX:075-315-9240  
E-mail:kaikaku@ki21.jp



# 地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから  
モバイルコンテンツまで  
多彩なデジタルエンターテインメントを  
創造し、広く社会に貢献します。

**株式会社 トーセ** 〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル  
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営  
グループ会社…株式会社フォネックス・コミュニケーションズ/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司  
/Tose Software USA,Inc. /株式会社トーセ沖縄

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

# 京都産業21が設備投資を応援します!

**連帯保証人は、原則1名で申込みを受付けます!**

企業の皆様が必要な設備を導入する場合に、その設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

詳しくは、設備導入支援グループまでお問い合わせください。

### 〈ご利用のススメ〉

- 信用保証協会の保証枠外、金融機関借入枠外で利用できるため、運転資金やその他の資金調達に余裕ができます!
- 割賦損料率・リース料率は固定なので、安心して長期事業計画が立てられます!

区 分	割賦販売	リース
対 象 企 業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5名以下)の企業ですが、 <b>最大50名以下の企業も利用可能です。</b> その場合、一定の制限がありますので詳しくはお問い合わせください。 [事業実績が1年未満の場合は、原則として商工会議所、商工会、商工会連合会の経営指導員による経営指導を6ヶ月以上受けていることが条件になります。]	
対 象 設 備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外) 新品に限ります。 リースの場合は、再販可能なものに限ります。(オーダー製品、構築物に付随するもの等は対象外)	
対象設備の金額 (消費税込)	事業実績が1年以上あれば100万円～6,000万円/年度まで利用可能です。 [事業実績が1年未満の場合は、50万円～3,000万円/年度]	
割 賦 期 間 及 び リ ー ス 期 間	7年以内(償還期間) (ただし、法定耐用年数以内)	3～7年 (法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び 月額リース料率 (予定)	<b>年2.50%</b> (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	<b>3年2.990% 4年2.296%</b> <b>5年1.868% 6年1.592%</b> <b>7年1.390%</b>
連 帯 保 証 人	■原則、法人企業の場合は、代表者1人(年齢が満70歳以上の場合は、原則後継者を追加してください) 個人企業の場合は、申込者本人を除き1人でお申し込みいただけます。 ■なお、審査委員会で、追加連帯保証人・担保を求められることがあります。	
設 備 導 入 時 期	審査委員会は、原則月1回開催しています。 当月15日までにお申し込みいただくと翌月の審査委員会に上程します。 お申し込みから設備導入日(契約日)まで約50日かかります。(お急ぎの場合は、ご相談ください)	

※割賦損料率(金利)及び月額リース料率は、金利情勢に応じて見直しますので、詳しくは財団にお問い合わせください。  
 なお、契約後の料率の見直しはありません。(固定金利)



## 計る・包む・検査する

### トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社 **イシダ**

■お問い合わせは

本 社 / 京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL. (075) 771-4141

<http://www.ishida.co.jp>